障がいのある子どもの親の会

ご紹介

はじめに

「障がいのある子どもの親の会等情報紙」作成について

趣　旨

宮城県内における障がいのある子どもとその親（保護者）にとって、子に障がいがあると分かったときから切れ目のないサポートにより療育や相談等のサービスを受けるとともに、当事者（障がいのある子どもとその家族）が同じ立場の仲間と出会い、孤立することなく不安や悩みを共有することが重要です。

また、当事者を支援する児童発達支援事業所や医療関係者、自治体等の相談窓口では専門的なアドバイスに加えて、地域にある親の会等セルフヘルプグループ（以下、ＳＨＧｐ。ｐは、parent＝親）について把握し理解して係わりを持つ中で、常に情報提供できるようにしておくことは極めて重要であると考えます。

近年、障がいのある人が地域で暮らすための福祉制度、サービスは少しずつ整ってきています。また、当事者に対する情報も、ネットや書籍などで以前に比べて比較的容易に手に入れることが出来るようになりました。

しかし、障がいの多様化、家庭の状況、地域福祉の格差等により様々な悩みはつきません。障がいの受容、幼児期の療育、小学校入学から始まる進路選択、卒業後の進路、余暇支援や親子共々の仲間づくり、高齢期における問題等課題は山積みです。

この情報紙を作成することにより、障がいのある人に係わる方々に親の会等の活動を理解していただき、孤立している親にとっては、同じ悩みを持つ人とのつながりを深め安心して地域で暮らしていくためのツールとして活用していただくことを目的とします。

このため当事者団体が協力して情報収集に努め、インターネット等で公開していない規模の小さな集まりも含めた県内各地で活動するＳＨＧｐの協力により、当事者が孤立することなく仲間と出会う一助となるよう、親の会情報（紹介）紙を作成して県内関係各所に配布、設置することにより、誰でも必要な情報を得ることができるように願います。

一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会
宮城県重症心身障害児者を守る会
宮城県自閉症協会
宮城県肢体不自由児者父母の会連合会
社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会

目　次

一般社団法人
宮城県手をつなぐ育成会

代表理事：永野 幸一

022-292-5226　　FAX：022-292-5298

info@miyagi-ikuseikai.jp

http://www.miyagi-ikuseikai.jp/

〒983-0836　宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-2
（宮城県障害者福祉センター内）

発 足
昭和31年

対 象
知的障害のある本人、
その家族、支援者等

活 動 地 域
宮城県内
(各市町に県育成会加入育成会
(親の会))

定 例 会
役員会　月1回

会 員 数
28団体　1,514名
賛助会員　20名程度

会 費
年会費　個人会員2,400円
　　賛助会員5,000円

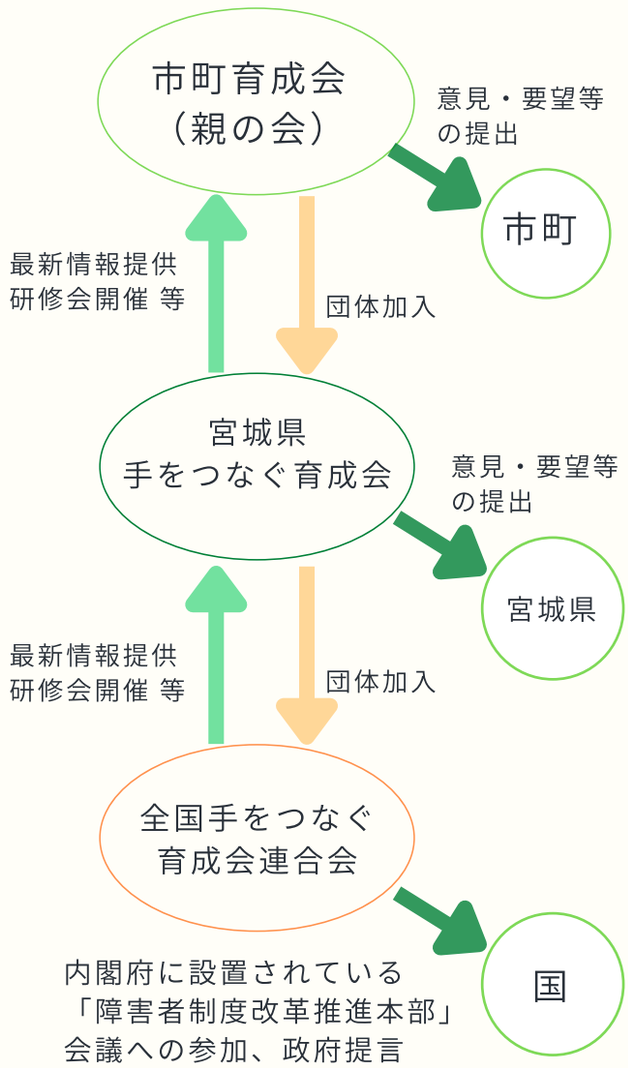
活 動 内 容

知的障害のある人とその家族を支援するため、権利擁護を基とし療育環境の整備、社会参加の推進、そして福祉の向上を図るとともに県民の理解・啓発を深める。

1. 総会・手をつなぐ育成会宮城県大会の実施
2. 会報「手をつなぐみやぎ」の発行
3. 研修会等の開催や障害理解啓発活動
4. 研修会、本人部会「みやぎフレンズ会」の運営
5. 宮城県・多賀城市委託事業（本人活動支援事業・全国障害者スポーツ大会選手派遣事業・多賀城市児童発達支援センター「太陽の家」運営事業

手をつなぐ育成会は全国組織です。
宮城県手をつなぐ育成会は、正会員として全国手をつなぐ育成会連合会に加盟しています。障害者の権利擁護と必要な政府提言を行う運動を、全国の仲間とともに進めています。

組織図



宮城県手をつなぐ育成会加入
市町育成会（親の会）

仙台市手をつなぐ育成会家族会
ワークつるがや保護者会
泉手をつなぐ親の会
富谷市手をつなぐ育成会
石巻・女川地方手をつなぐ親の会連絡協議会
塩釜市手をつなぐ育成会
古川手をつなぐ育成会
大崎市鹿島台手をつなぐ育成会
気仙沼市手をつなぐ育成会連合会
白石市手をつなぐ育成会
名取市手をつなぐ育成会
角田市手をつなぐ育成会
多賀城市手をつなぐ育成会
岩沼市手をつなぐ親の会連絡協議会
登米市手をつなぐ育成会
栗原市手をつなぐ育成会
山元町心身障害児（者）親の会つばめ会
松島町手をつなぐ親の会
七ヶ浜町手をつなぐ親の会
利府町手をつなぐ親の会
大和町手をつなぐ育成会
大郷町手をつなぐ親の会
加美町手をつなぐ親の会
色麻町手をつなぐ育成会
美里町手をつなぐ親の会
南三陸町愛の手をつなぐ親の会
蔵王手をつなぐ親の会
本吉町絆つながりたい
気仙沼市唐桑地区手をつなぐ育成会

宮城県重症心身障害児(者)を守る会

会長：秋元 俊通

022-261-1050（FAXも同じ）

mamorukai-myg@triton.ocn.ne.jp

https://myg-mamorukai.web.infoseek.co.jp/

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-4-1　エクセルジオ五橋7F
※事務所　毎週(火)(木)　10:00～16:00

発足年　昭和40年

重症心身障害児(者)とは、重度の身体障害と重度の知的障害を併せ持った児童及び成人を言います。宮城県重症心身障害(児)者を守る会は昭和39年に設立された「全国重症心身障害児(者)を守る会」に呼応してマザーズホームに集う重症児の親たちがわが国初の「国立療養所重症心身障害児病棟を国立西多賀療養所に誘致するための当事者団体として、昭和40年に設立されました。

対象　重症心身障害児(者)の父母またはそれに代わるもの

活動内容

- 夏の療育キャンプ*
- 母親部会茶話会*
- 在宅児者親子交流会*
- 家庭訪問（年1回）
- 県内相談支援事業所との懇談会*
- 研修会　学齢超過就学時の教育を語る会*

*現在はコロナ禍により活動を休止しています

会員数　170名

会費　月会費　全国守る会700円　宮城県守る会250円

全国重症心身障害児(者)を守る会　組織図

全国重症心身障害児(者)を守る会(親の会)

全国重症心身障害児(者)を守る会（社会福祉法人）

東北ブロック

宮城県重症心身障害児(者)を守る会

専門部会
- 国立施設部会
- 重症児施設部会
- 在宅部会
- 母親部会

委員会
- 総務委員会
- 広報委員会
- 療育支援委員会
- 組織拡充委員会

各分会
- 仙台分会
- 石巻分会
- 栗原分会
- 県南分会

守る会三原則

一、決して争ってはいけない。
　　争いの中に弱いものの生きる場はない。

一、親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に
　　参加する者は党派を超えること。

一、最も弱いものをひとりももれなく守る。

宮城県自閉症協会

代表：目黒 久美子

080-3328-3802

m_autism@yahoo.co.jp

https://blog.canpan.info/miyagi/

〒984-0816 宮城県仙台市若林区河原町2-2-3　南材ホーム内

発 足

昭和42年4月
自閉症および自閉的な傾向を持つ子どもたちの親が主体となり、宮城県自閉症児者親の会を設立。平成20年4月日本自閉症協会が一般社団法人となり、組織改革に伴い名称を宮城県自閉症協会としました。日本自閉症協会の加盟団体としての活動の他に宮城県自閉症協会独自の活動をおこなっています。

対 象

自閉症スペクトラムの子どもをお持ちの保護者、当事者、支援者、興味をお持ちの方。

活 動 内 容

2ヶ月に一度、通信いとしご増刊「ばっけ」発行

- 総会
- 啓発活動（世界自閉症啓発デーイベント開催）
- 講演会
- 研修会
- 茶話会「お茶しませんか」
- 成人を祝う会

その他

- 日本自閉症協会からの委託事業
- 発達支援ひろがりネットへの参加
- 行政機関の会議への出席
- 行政機関への働きかけ

活動地域　宮城県

定例会　役員会　月一回

会員数　正会員103名　賛助会員7名

会費　正会員：入会金3,000円　年会費5,000円
賛助会員：年会費4,000円

自閉症スペクトラムは、生まれつきの脳機能の違いにより、情報処理が一般の人と異なります。彼らは、様々な場面において理解されにくいことが多くあります。私たちが、まず彼らの生きづらさを理解し、彼らを取り巻く現状に目を向けることが必要と思われます。そのために情報交換（おしゃべり）や、研修会、講演会の企画、通信の発行、ブログなどの利用を通じ、彼らの人生の困難さに、一緒に対応していきましょう。

また、日本自閉症協会は、独自の保険を持っています。

「自閉症スペクトラムのためのＡＳＪ総合保障」です。付き添い介護保障から、他人への賠償責任を負った時や、弁護士等費用の補償も備えることができるという優れものです。これは、会員でなくても利用することができます。宮城県自閉症協会ブログをご覧になってから、一般社団法人日本自閉症協会のＨＰで御確認ください。

宮城県肢体不自由児者父母の会連合会

会長：永井 一男

022-293-2902　　FAX：022-291-1588

miyagikensiren@gmail.com

http://miyagikenshiren.web.fc2.com/

〒983-0836　宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-2　宮城県障がい者福祉協会内

※事務局への訪問・電話は木曜日（第２週は水曜日）にのみお願いします。

身体に障害をもつ肢体不自由児者本人とその家族の福祉の向上に努めております。
若い年代の父母の考えを組織の中に取り入れ、今後の活動の推進に努めてまいります。
会員になり、我が子はもちろん、多くの肢体不自由児者とその家族がより幸せになれるよう活動してみませんか！

発足

昭和32年

対象

- 肢体不自由児(者)の父母または兄弟姉妹
- 肢体不自由児(者)本人

定例会

偶数月　適宜

活動地域

- 仙台地区
- 仙南地区
- 仙北地区
- 東部地区

会員数

110名

会費

年会費　3,600円
障害者本人　1,800円

活動内容

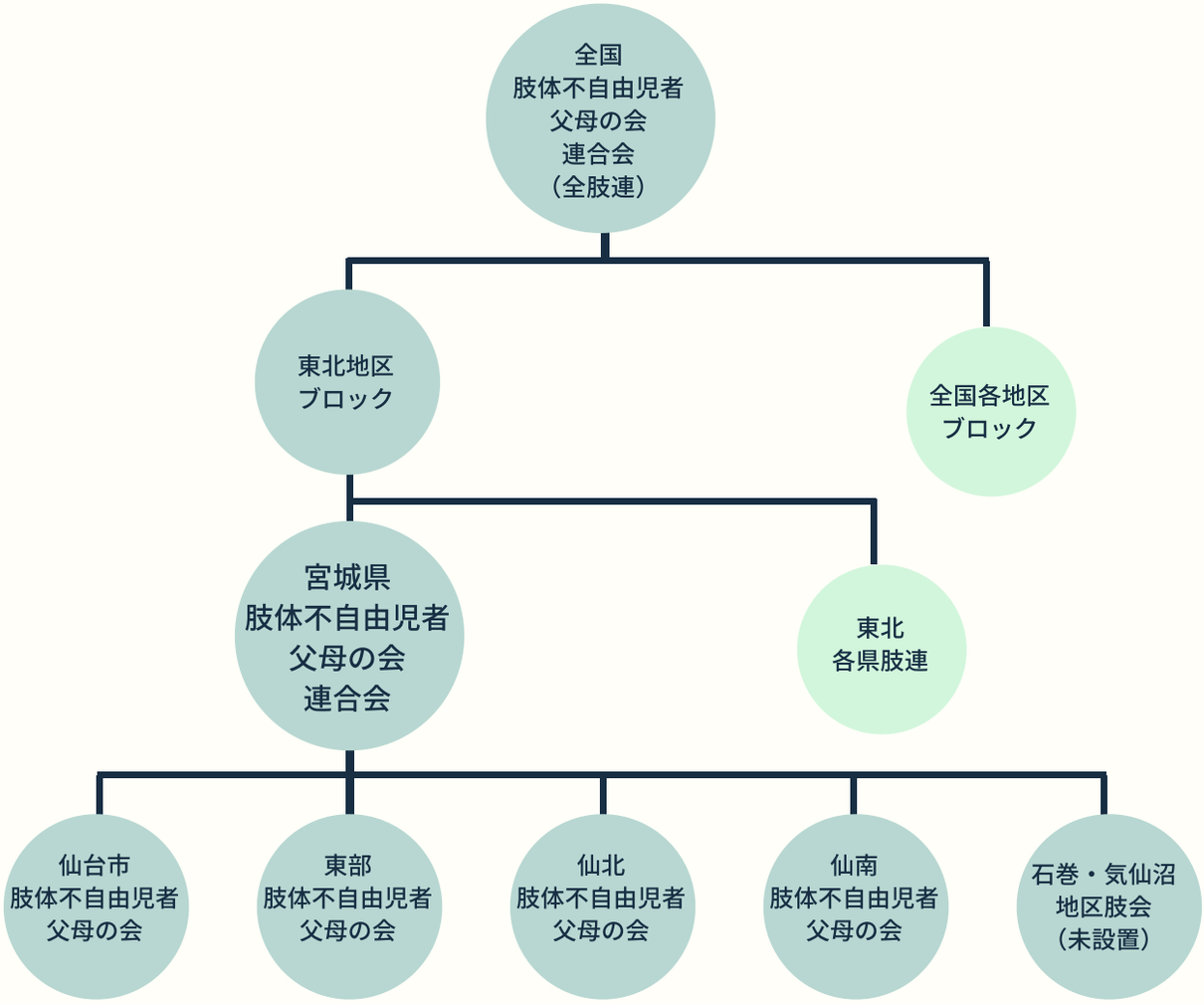
１年に１回は、「さわやかレクリエーション事業」があり、過去には、松島湾クルーズ、カマボコ焼き体験、せんべい焼き体験、うみの杜水族館見学、芋煮会、柴田菊人形まつり見学など毎年いろいろ工夫を凝らしています。全国肢体不自由児者父母の会連合会（全肢連）から助成金を頂きますので、参加費も安価です。親子での参加も多く、車いすの方も、リフト付きのバスでスムーズに移乗することが出来ます。

東北大会は東北６県で順番に開催し、テーマを決めてその分野の講師を迎えての勉強会、パネルディスカッションを行います。

全国大会は北海道から九州沖縄までの各ブロック当番県で開催され、2日間にわたって講義を受けたり勉強会などがあります。

どちらも親睦を深める講習会があり、同じ悩みを持つ親達との再会も楽しみの一つです。

肢体不自由児者父母の会の組織



この冊子作成の理由は、「障がいのある子どもとその家族が同じ立場の仲間と出会い、孤立することなく不安や悩みを共有すること」、「障がいのある人に係わりがある方々に親の会活動を知っていただくこと」（趣旨）の一助とすることです。

親の会には、親同士のわかちあいの他にも次の様な強み、良さがあります。

- リフレッシュできる。楽しめる。
- 知らなかった専門家（職）や専門機関・団体の方と出会うことがある。
- 病気や障害に対する考え方や捉え方が変わる。
- 自分自身の状況（課題）が客観的にわかり、課題解決への糸口を見出せる。
- 子どもの友達が増える。　　etc…

親の会は、このような強み等があることに加えて、信頼や規範、ネットワークなど、社会やコミュニティにおける人々の相互関係や結びつきを支える仕組みの一つでもあり地域社会に必要な（社会関係資本と称する）団体であることをご理解いただき、これからもご支援していただければ幸いです。

「私たちのことを私たち抜きで決めないで（Nothing About us without us）」

障がい者の自立生活運動で用いられていた言葉が、国連で「障害者の権利に関する条約」を採択する時（2006年）の合い言葉になりました。

今回発行した「障がいのある子どもの親の会」を紹介する冊子はこの合い言葉を念頭に置いて作成に取り組みました。

コロナ禍にあって活動がままならい現状の中で、当方の要請に応じていただいた親の会皆様のご協力により発行に至りました。本当にありがとうございました。

この冊子作成をきっかけとして、「親の会を支援するシステム」を「親の会と協働するシステム」へ推進することを考えています。

このことについてのご意見ご要望等をお待ちしています。

おひさまくらぶ　代表：宇都宮 惠子

【連 絡 先】　TEL：022-255-9303
【発　足】　平成8年3月　【対　象】種別、年代に関係なく障がいをもつ子と親
【内　容】　定例会、親子揃ってのクリスマス会　【地　域】岩切保健センター（岩切字三所南88-2）
【定 例 会】　月1回（第2火曜日）10：00～12：00
【会 員 数】　15名　【会　費】年会費1,000円　出席時100円

障がいの種別、年代に関係なく障がいをもつ子と親の会です。月一度の定例会では子育ての悩みなどを話し合ったり、情報交換をしています。みんなでおしゃべりしてストレス解消の場でもあります。親子一緒のクリスマス会もしています。

アンジェルマン家族の会　世話人：宮川 亜津子

【連 絡 先】　✉: luna-8251-hoshi@ezweb.ne.jp 【発　足】　平成11年6月
【対　象】　アンジェルマン症候群と診断を受けたご本人とそのご家族
主に東北6県を対象としてるが、それ以外の地域でも可
【内　容】　年に1度、仙台で会場を設定し活動。勉強会・座談会等を行い、その間保育が必要な方はボランティアさんと過ごします。　【地　域】仙台市内
【会 員 数】　10～15家族　【会　費】年会費2,000円（1家族）

アンジェルマン症候群という稀少な障害名の診断を受けた本人や家族の戸惑いやこの障害によってどのような発達をしていくかなどの悩みを交流する場を設けることにより仲間がいる、大丈夫！という気持ちになれる時間を作る会です。

発達障害児・者支援サークル T-BOX　代表：阿部 薫

【連 絡 先】　TEL：022-391-8827　FAX：022-391-8827　✉: torotoro366kg@gmail.com
【発　足】　平成14年
【対　象】　障がい者家族中心ですが、当事者や支援者の参加もあり、どなたでも参加可。
【内　容】　2019年迄は、月に1回目の定例茶話会や勉強会を行っていました。コロナ禍の現在は、青葉区下愛子の「宮城社会福祉ｾﾝﾀｰ」集会室で、月に3回少人数でフィットネスを行っております。
【地　域】　主に仙台市内、青葉区「宮城社会福祉ｾﾝﾀｰ」、宮城野区「宮城県障害者福祉ｾﾝﾀｰ」
【会 員 数】　22名　【会　費】なし(費用がかかる時実費)

自閉症･発達障害の特性や支援を知っていただく目的で発足しましたが、現在は他の障がいのご家族の参加や当事者の参加もあります。障がいがあっても『地域で個々に応じた自立生活』を目標としています。

ココりすの会

代表：佐藤 理恵

【連 絡 先】 ✉: cocorisu2006@gmail.com 【発　足】 平成18年4月
【対　象】 医療的ケアを必要とする児・者、または重度重複障がい児・者とその家族
【内　容】 定例会、遊ぼう会、勉強会、成人を祝う会、など
【定 例 会】 定例会(月1回)　遊ぼう会(年2回)　勉強会(年1~2回)
※現在はコロナ禍のため、リモートにて開催しています。
【会 員 数】 24名　【会　費】年会費1,000円

医療的ケアが必要または重度重複障がい児・者と家族の会です。未就学児から成人まで幅広い年齢で活動しています。不安や悩みを話したり、情報交換などの交流と繋りを大切に成長を喜び合える会を目的としています。

重度障がい児（者）を支援する会　ファーシル

代表：工藤 純子

【連 絡 先】 ✉: facil.sendai@gmail.com 【発　足】 令和元年 【対　象】障害
【内　容】 ・月一度の茶話会、勉強会実施　・相談員による相談会
・イベント（クリスマス、フラワーアレンジメント、バーベキュー）
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】 仙台市内 【定 例 会】月1回
【会 員 数】 6名　大学生ボランティア2名 【会　費】入会金1,000円　年会費2,000円

障害の種別や障害区分の重さに関わらず、障害児（者）の個性を尊重し「きらく」に集まる場所の創出を目的として活動しています。「動ける医ケア児」の支援不足の現状を広く知ってもらう活動をしています。

えじそんくらぶ「森杜」親の会宮城

【連 絡 先】 ✉: miyagi-morimori@mail.goo.ne.jp 🌐: http://e-club.jp/からリンク出来ます
【発　足】 平成12年5月
【対　象】 ADHD等発達障害のある子ども、その傾向のある子どもを育てる親（保護者）
【内　容】 毎月1回（茶話会、情報交換会等）の活動
NPO法人えじそんくらぶ（代表高山恵子）の会員・準会員が、仙台近郊のメンバーの交流を目的に親の会として運営しています。
【地　域】 仙台市の市民センターを利用 【定 例 会】月1回　10時～14時
【会 員 数】 11名　【会　費】えじそんくらぶ 年会費3,000円 ＋ 森杜 年会費3,600円

森杜（もりもり）は、森のように逞しく、元気もりもり、何でもてんこもりの意に、杜の都を重ねて名付けました。悩みを些細な事でも本音で話せて、お互いに尊重しあえ、元気に笑って帰れる会が目標です。

こぐまの会（自閉症等の発達障害児をもつ親の会）　代表：鈴木 広美

【連 絡 先】　TEL：022-366-8726　090-4049-9030　FAX：022-366-8726
【発　足】　平成10年8月　【対　象】　発達障害。主に自閉症、年齢は問わない
【内　容】　1ヶ月に1回定例会。2～3カ月に1回情報交換会、勉強会、施設見学会。
年に2～3回の行事（成人を祝う会、お花見、芋煮会、七ツ森宿泊など）
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　塩釜市周辺の市町村　【定 例 会】月1回
【会 員 数】　16名　【会　費】年会費3,000円

私達の会は、同じような障がいを持つ子供たちと、親たちの会として、23年目になります。現在、中学生から社会人の会員で活動しています。年齢を重ねる事で、様々な問題や悩み事を、気兼ねなく、話し合うことで、気持ちが軽くなったり、前向きにお互いに育ちあうことを大切にして活動しています。

いっぽの会　現中高部会長：樋口 奈々子

【連 絡 先】　（事務局：富谷市地域福祉課）TEL：022-358-3294　FAX：022-358-9915
✉: chiikihukushi@tomiya-city.miyagi.jp　【発　足】　20年以上前
【対　象】　富谷市内の自閉症とその周辺障害（ADD、ADHD、発達障がい等）を持つ子の親。
主に幼年部（小学生以下）と中高部（中学～高校生）に分かれて活動。
【内　容】　茶話会（部ごとで年3回ずつ程度）、総会（年1回）
講習会（基本的に部ごとの活動で年1回ずつ程度）
【地　域】　富谷市内　【会 員 数】　約40名　【会　費】なし

障がいのある子を持つ親達が集まって、意見の交換や悩みを打ち明け、心を軽くしてもらえる会にしたいと思っています。素敵な会員さんがたくさんいるので、興味のある方は気軽にご連絡ください。

重症心身障がい児者親の会　ベリーの会　代表：佐藤 洋子

【連 絡 先】　TEL：090-2998-1692　FAX：0223-34-0322　✉：jusinverynokai@wing.ocn.ne.jp
【発　足】　平成27年4月
【対　象】　肢体不自由児者または医療的ケアを必要としている障がい児者とその家族
【内　容】　障がい児者のいる家族が子育てに関する不安や悩みを気軽に話せる場所を設け、情報交換や親同士の交流を図れる居場所作りを提供しています。また、なかなか外出する機会が少ない重度身体障がい児者とその家族に楽しんでもらえるよう、様々なイベントを開催しています。
【地　域】　亘理町とその近隣の市町村　【定 例 会】月1回（第3木曜日）
【会 員 数】　正会員13名　賛助会員8名　【会　費】年会費　正会員3,000円　賛助会員1,500円

重度の身体障がいと重度の知的障がいを併せ持ち、さらに医療的ケアを必要としている障がい児者とその家族が、地域で孤立しないよう、そして地域に我々が住んでいることを知ってもらえるよう、様々なイベントを開催しています。また、障がい児者が地域で安心して暮らせるよう、行政関係と連携を図り、幸せに暮らしていけるよう活動しています。

名取おもちゃ図書館ドロップス　代表：内田 広美

【連 絡 先】　TEL：022-386-3061　FAX：022-386-3061
【発　足】　平成8年8月
【対　象】　名取市内（近隣OK）の障害児・者、きょうだい参加OK
【内　容】　親がボランティアとして企画、参加。会所有のおもちゃを使っての例会や、
クリスマスなどの季節行事。親の勉強会や施設見学。
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　名取市内公民館　【会 員 数】　13家族　【会　費】年会費3,000円

年齢の幅が大きいので、中学生以上の行事にはその時々考えて何をするか決めます。大学生のボランティアさんがたくさん来てくれるので、その間に親同士の交流、悩みや情報交換などできます。

いるかの会　代表：遠藤　由美子

【連 絡 先】　（事務局：松島町児童館）TEL：022-354-6888　FAX：022-355-1022
【発　足】　平成16年4月
【対　象】　年齢他問わず（松島町在住の発達発育に悩みを持つ子供の家族が主な対象）
【内　容】　（月1回）定例会（情報交換会）クリスマス会、見学学習会（年1回）
※現在コロナ禍により、月一回の定例会を除き、活動を休止しています。
【地　域】　松島町（町児童館にて定例会実施）　【定 例 会】月1回
【会 員 数】　18名　【会　費】なし

仲間がいるって、とっても心強い！松島の子供達の成長を願いながらの集まりに楽しく参加してみませんか！ご連絡おまちしております。

ハッピーピース　代表：本郷 佳江

【連 絡 先】　TEL：080-3190-9802　✉：happpypeace@gmail.com
🌐：http://blog.canpan.info/happy-peace
f：https://www.facebook.com/happpypeace
【発　足】　平成26年11月　【地　域】　塩釜・多賀城、仙南・名取、石巻など
【対　象】　自閉症スペクトラム障害ASD、注意欠如・多動性障害ADHD、限局性学習障害LD、
不登校、HSC、育て辛さを抱える方、保護者・支援者など
【内　容】　・勉強会　発達支援や子育て（心理学講座や思春期対応など）
・茶話会　悩みを話せる場所を提供し、居場所つくりをしています。
・支援者研修会　勉強会と事例検討会を交互に行い、支援者がすぐに使える対応方法を考える場所を提供しています。
【定 例 会】　＜塩釜・多賀城地区＋オンライン（ZOOM）＞
月1回勉強会／隔月1回（木曜日）茶話会／毎月第3金曜日支援者研修会
＜仙南・名取地区＋オンライン（ZOOM）＞　不定期（水曜日）にて開催
【会 員 数】　28名　【会　費】　年会費5,000円

私達の団体は、発達に凸凹を抱える子供を育てる保護者で立ち上げました。発達障害や育て辛さを抱え、子育てが上手くいかず、自分を責めていませんか？不安を抱えていませんか？
保護者も子供も支援者も、責められない追い詰められない非難されない居場所作りを提供します。

ないろの会　　世話人：髙倉 文代

【連 絡 先】　TEL：0225-94-8345
【発　足】　平成3年11月
【対　象】　石巻市を中心とした県内外のダウン症家族　0歳～
【内　容】　・会報作成（年2,3回発行）・季節行事（クリスマス会等）
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　主に石巻市　【会 員 数】　20名　【会　費】年会費2,000円

県内外のダウン症のいる家族が子育てに関する不安、悩みを気軽に話せる場所を設け、情報交換や親同士の交流を図れる居場所作りを活動の目標としています。

あおいそらの会　　会長：蜂谷 守康

【連 絡 先】　TEL：090-1497-3470　✉：aoisoranokai_h@yahoo.co.jp
🌐：http://aoisoranokai.html.xdomain.jp
【発　足】　平成20年4月
【対　象】　自閉症スペクトラムやアスペルガー症候群などの発達障がい児・者とその親族
【内　容】　月1回の交流会　他【地　域】　石巻市　【定 例 会】月1回の定例交流会
【会 員 数】　20名　【会　費】年会費1,200円（1家庭）

あおいそらの会は自閉症スペクトラムやアスペルガー症候群などの発達障がい児・者の親の会として宮城県石巻圏域で活動しています。
石巻圏域に住居を置く会員で構成されていますが特に規定は設けていません。
また発達障がいについて話を聞いてみたい方、勉強してみたい方なども入会できます。
定例交流会の見学や入会についてなどお気軽にご連絡ください。

福祉サークルＩ♡愛　　代表：伊勢 理加

【連 絡 先】　TEL：090-5355-0196　✉：akir7ylevol.0ym@gmail.com
【発　足】　平成16年12月
【対　象】　いろいろな障がいをお持ちの当事者やご家族、および活動にご理解のある方々等
【内　容】　1.定例会（悩み相談や情報交換など）
2.交流・啓発活動（「きらりphotoスケッチ」募集・展示活動など）
3.ボランティア活動（福祉事業所への空缶提供、
「I♡たっち」～からだもこころもリラックス」）
【地　域】　石巻圏域（石巻市、東松島市、女川町）　【定 例 会】　月1～2回
【会 員 数】　16名　【会　費】月会費200円

小さな活動ですがこれからも「ぽこ あ ぽこ（少しずつ 少しずつ）」のペースで、わたし達ができることに取り組んで行こうと思います。関心のある活動がありましたら、お気軽にお声がけ下さい。

若柳一歩一歩の会　　世話人：菅原 容子

【連 絡 先】　TEL：0228-32-4478　FAX：0228-32-4478　【発　足】　平成14年
【対　象】　障害の別　問わない　年齢も問わないが現在は成人した人がほとんど
【内　容】　月に1～2回集まる　情報交換会、ハンドベルミュージックケア（年3回）、
クリスマス会、ボウリング大会、施設見学
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　栗原市若柳地区　【定 例 会】月1回
【会 員 数】　14名　【会　費】年会費1,000円

発足当時は小さかった子供たちも学校を卒業して、仕事をしているので休日の余暇活動支援に重きを置いています。

障がい児親と子の会　かめっこくらぶ　　代表：志村 みよ子

【連 絡 先】　TEL：0224-26-3497　FAX：0224-26-3497　✉：kamemama_345@yahoo.co.jp
【発　足】　平成7年4月
【対　象】　主に白石市に住む障害のある子供の家族。子供の障害、疾患、年齢は問わない
【内　容】　定例会、学習会（全国障害者問題研究会 白石サークル）、地域行事参加（福祉関係）
【地　域】　仙南地域にて活動　【定 例 会】月2回（不定期）※現在はコロナ禍により変動的
【会 員 数】　正会員16名（6家族）賛助会員2名　【会　費】年会費1,200円

子育ての悩みや不安を解消するため親の交流を大切にし、障害のある我が子たちが地域の中でいきいきと生活出来るようにと成長にあわせた活動を家族で行っていきます。

川崎町心身障害児（者）親の会　　会長：大和 博文

【連 絡 先】　（事務局：川崎町保健福祉課）TEL：0224-84-6008　【発　足】　平成元年度
【対　象】　川崎町内に住所を有す障害をお持ちの方。年齢問わない
【内　容】　移動研修、旅行、グラウンドゴルフ大会、仙南地域交流会
※現在コロナ禍により活動を休止しています。再開については未定。
【地　域】　川崎町　【会 員 数】　20名程　【会　費】なし

障害のある子どもを持つ親の会です。同じ悩みを持つ親同士で情報交換をしたり、研修や行事を通して、親睦を深めることを目的として活動しています。

丸森町心身障害児者親の会　　会長：川村 賢司

【連 絡 先】　（事務局：丸森町社会福祉協議会）TEL：0224-72-2241　FAX：0224-87-8990
【発　足】　昭和51年3月　【対　象】　丸森町内の心身障害児者とその家族
【内　容】　総会、役員会、会員の親睦を図る移動研修会
交流事業「どんぐり村」（クリスマス会や音楽会など）の開催
【地　域】　丸森町内　【定 例 会】役員会　年1～2回
【会 員 数】　31名　【会　費】年会費1,000円

町内の心身に障害のある方たちとその家族が、不安や悩みを話し合い情報交換できる機会を設けています。また、移動研修会や交流会を通して、会員同士の親睦の他に地域との交流を図り、リフレッシュや地域の中での居場所づくりを行っています。

発達障がい児（者）親の会エール　代表：伊藤 直美

【連 絡 先】　（事務局：丸森町役場 保健福祉課 社会福祉班）
TEL：0224-72-2115　FAX：0224-87-7189
【発　足】　平成14年12月　【対　象】　発達障害、自閉症児及びご家族
【内　容】　毎月1度、定例会（茶話会、情報交換会）、宿泊体験（お泊り会）、いも煮会、クリスマス会、福祉勉強会、見学会
※現在コロナ禍によりメール、ラインでの発信のみ
【地　域】　主に丸森町、角田、岩沼　町外の方でも参加可能　【定 例 会】　近年3ヶ月に1度
【会 員 数】　13名　【会　費】なし

会発足当時、幼少だった子ども達が成人期を迎え、今までとは違う形での会運営を行いたいと思っていた矢先に、2019年度の台風の影響により活動できなくなりました。今後は親亡き前に本人達が固まることをなく生活できる子の活動も必要になってきました。ここ数年、あたらしい会員さんは入っておりませんが、若い方がたとも交流は行いたいです。

あゆみの会　代表：山崎 恵子

【連 絡 先】　TEL：0229-67-6569　090-7333-2579　FAX：0229-67-5880
【発　足】　昭和63年5月　【対　象】　障害名、年齢は問わない
【内　容】　情報交換　※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　加美郡内

地域で障害児者家族が安心して生活できるように何が必要か考えていきたい。
（例えば緊急時の支援、親の高齢化に伴う問題等）

すくすくの会　代表：福田 長子

【連 絡 先】　TEL：0229-65-3368　FAX：0229-65-3368
【発　足】　平成10年頃　【対　象】　問わない
【内　容】　・定例会を中心に情報交換（社協、福祉課保健師を交えて）・食事会
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　色麻町内　【定 例 会】年3回　【会 員 数】　6名　【会　費】なし

色麻町内に住んでいる子どもが障害を持っている親の会です。障害は問いません。現在悩んでいる事、知りたい事、要望等を経験豊かな先輩お母さんから聞いたり、社協職員や保健師を交えての情報交換の場です。

たんぽぽ会（大崎市松山地区心身障がい児者親の会）　代表：角田 真寿美

【連 絡 先】　TEL：0229-55-2285　FAX：0229-55-2285　✉：misumahidenori@outlook.jp
【発　足】　平成4年2月　【対　象】　心身障がい児者の家族並びにこの会の趣旨に賛同する方
【内　容】　年１回の総会、移動研修会、クリスマス会　【地　域】　大崎市松山地域
【会 員 数】　10名　【会　費】年会費2,000円

主な活動は年3回のイベント開催ですが、集まった時や町で会った時など、お互いの顔を見ながら悩みや困っていることなどいろいろなことを話し合ったりできる「ホッとできる場」です。

階上地区くるみの会　　会長：齋藤 由美子

【連 絡 先】　TEL：0226-27-4127 【発　足】　平成13年6月
【対　象】　気仙沼市階上地区に居住する又は通学する心身障がい児者の親と家族
【内　容】　創作活動、EM石けん作り、調理体験、クリスマス会等
　　階上公民館まつりへの参加（展示、販売）
【地　域】　主に階上公民館で活動　【定 例 会】　1～2ヶ月に1回（土、日のいづれか）
【会 員 数】　11名　【会　費】　活動内容により参加費

学校卒業後も親子、きょうだいが休日に集まり、親睦を図りながらいろいろな活動を通して成長し、楽しい時間を過ごしています。

コミュニティ広場ふぁみりあ　　代表：佐藤 絵里

【連 絡 先】　（問い合わせ窓口：気仙沼市障害者生活支援センター）TEL：0226-24-5161
　　フェイスブックにて活動内容掲載　　【発　足】　平成25年11月
【対　象】　疾患、障がい、発達障がい等問わない、どなたでも。年齢　主に18歳未満
【内　容】　月1回 主に、土、日での開催。（座談会、情報交換会、音楽遊び、月の行事）など
　　※現在コロナ禍により状況を見ながら活動を行っています。
【地　域】　気仙沼、本吉地域　【会 員 数】　20名　【会　費】　なし

病気、障がい、発達のんびりさんのお子さんを子育て中のお母さん（又はご家族）が子育てに関する悩みを気兼ねなく話しながら情報交換や交流を図れる、親子の居場所作りをしています。

どんぐりの会（日本ダウン症協会　宮城仙台支部）　　代表：武田 美法

【連 絡 先】　TEL：022-307-6777　FAX：022-307-6777　✉：donguritake@yahoo.co.jp
　　🌐：https://p4.mpcmiyagi.com/　f：「日本ダウン症協会宮城仙台支部どんぐりの会」
【発　足】　昭和61年4月 【対　象】　仙台市を中心に県内外のダウン症児者とその保護者・支援者
【内　容】　乳幼児サークル、就学相談会、講演会、クリスマス会、新成人のお祝い会、等
【地　域】　主に仙台市で活動　【定 例 会】月1回（第4火曜日）12月はなし
【会 員 数】　正会員207名 うちJDS（財団法人日本ダウン症協会）会員71名
【会　費】　年会費　正会員2,000円　JDS会員2,000円＋4,000円

会員相互の親睦をはかり、助け合い励まし合ってダウン症児者本人の成長を促し見守り、また社会に対しては、ダウン症児者についての理解を踏める活動をしながら、心身ともに豊かで幸福な生活が営まれることを目的とする。

ダウン症のあるお子さんとママの会「ぷらすわん」　代表：志賀 亜希子

【連 絡 先】　TEL：080-3192-0650　Instagram,Facebookやっています。【発　足】　平成28年春
【対　象】　0歳～現在は小学生のメンバーです。宮城県各地にメンバーがいます。
全体集まりの他に各地域ごとの集まりや、それぞれの年齢での悩みを共有しお互いに情報交換ができるように0歳～年中さん迄はベビー部として活動し、年長～はキッズ部として集まりを行っています。
【会 員 数】　53名　【会　費】なし

ダウン症と告知をうけ、目の前にいるわが子にどんなことをしてあげたらいいのか・・・。本当にかわいいと思える日がくるのか・・・。何からしたらいいのか・・・。誰に相談したらいいのか・・・。そんな不安を私たちも抱きました。月齢が近い子との出会いでお互いに不安を解消し年上の子との出会いで未来を感じることができたら・・・。そんな思いから始まったサークルです。まだ前を向けずに悩んでいるママ達に「だいじょうぶだよ！」を届けられたらなと思っています。お気軽にご連絡ください。

宮城県難聴児を持つ親の会　会長：中島 康志

【連 絡 先】　TEL：090-7568-1308　✉: miyagi.nantyouji@gmail.com
【発　足】　昭和42年6月　【対　象】　聴覚障害
【内　容】　コロナ禍前は親子研修会(夏のキャンプ)　クリスマス会　茶話会　勉強会
【地　域】　仙台市を中心に宮城県内　【定 例 会】　随時運営会　年1から3回
【会 員 数】　23名　【会　費】　2020年から活動自粛のため 年会費1,000円

私たち親の会は、「聴こえない、聴こえにくい障害」への理解を深め、聴覚障害の子ども達が望ましい成長をかさねる事ができるように、活動を行っています。

胆道閉鎖症の子どもを守る会・宮城支部　窓口：冨並 かね子

【連 絡 先】　✉：tando@agate.plala.or.jp　🌐：https://tando.lolipop.jp/
【発　足】　昭和48年10月（本部設立）　【対　象】　胆道閉鎖症の患者とその家族
【内　容】　年に1～2回（先生をおよびして学習会、交流会）
※現在コロナ禍により活動を休止しています。
【地　域】　宮城県　【会 員 数】　13名　【会　費】年会費7,200円

病気についての不安や悩みを気軽に話し合ったり、情報交換の場としてお互い励まし合い、一人ひとりが持てる力を出し合い交流を深めています。

みやぎ盲ろう児・者友の会（愛称：ずんだの会）　会長：小山 賢一

【連 絡 先】　TEL：080-8701-3134　✉：miyagi.db@gmail.com　🌐：http://miyagi-db.com/
【発　足】　平成20年5月25日　【対　象】　盲ろう者（目と耳の両方が不自由な方）
【内　容】　・交流会、勉強会の開催　・県事業等への協力　・啓発活動　・その他
【地　域】　宮城県（主に仙台）　【定 例 会】月1回の交流会または勉強会
【会 員 数】　50名　【会　費】　年会費2,000円

目と耳の両方が不自由な盲ろう者のコミュニケーションと情報、人や社会とつながるために活動しています。当事者だけでなく、家族や支援者も一緒に交流・勉強・情報交換等をしています。お気軽にご相談・お問い合わせください。

シエルの会　会長：中嶋 廉

【連 絡 先】　TEL：022-376-8070　FAX：022-376-8070　✉：ciel.aspe@gmail.com
🌐：https://blog.canpan.info/ciel/
【発　足】　平成12年9月　【対　象】自閉症スペクトラム障害またはその疑いがある子どもの保護者
【内　容】　研修会、茶話会、グループホームなどの見学、会報の発行ほか
【地　域】　福祉プラザをはじめ、仙台市内　【定 例 会】研修会は年3回程度。茶話会などは随時開催
【会 員 数】　40名　【会　費】年会費3,000円

自閉症スペクトラム症またはその疑いがある子どもの保護者の会。
２００９年９月発足。小学生から成人までの子どもをもつ約４０人が参加。
研修会等は主に福祉プラザで開催。茶話会等で専門家の顧問に助言をお願いしている。

一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会宮城県支部　支部長：中里 俊晴

【連 絡 先】　TEL：022-341-0588　FAX：022-341-0588　✉：info@jmda.miyagi.jp
🌐：https://www.jmda.miyagi.jp/
【発　足】　昭和39年6月　【対　象】神経筋疾患（筋ジストロフィー）年齢不問
【内　容】　・医療講演会、相談会（1回/年）　・総会（1回/年）
・国や自治体への要望提出　・会報発行、メーリングリストによる情報交換
【地　域】　宮城県内　【定 例 会】お茶会（1回/月）
【会 員 数】　50名　【会　費】年会費5,500円

筋ジス治療研究の専門家による講演会、医師または福祉専門家と個別相談する相談会を開催します。患者・家族が集まるお茶会では、悩み事相談や地域の情報を交換します。国や県内自治体に会員の要望を提出します。

自閉症児（者）親の会　えがおの会　　代表：吉田 美代子

【連 絡 先】　（恵泉会地域生活支援センター）TEL：0220-21-1011
【発　足】　平成14年2月2日　【対　象】　発達障害
【内　容】　月1回定例会、施設見学、交流
【地　域】　問わない　【定 例 会】月1回（第３火曜日）都合により休みあり
【会 員 数】　7名　【会　費】なし

情報交換をしながら、学校や家庭での子育ての悩み等を話し合う施設や支援者との交流もしながら気軽に話せる居場所作りをしている。

ぽけっとの会　　代表：千葉 淑子
～重い障がいの子供たち、人たちの地域生活を豊かにする会～

【連 絡 先】　TEL：0191-26-0454　090-2608-0299　FAX：0191-26-0454
✉：ippokan22@gmail.com　f：http://www.facebook.com/pokettonokai
【対　象】　重い知的障がいと重い身体障がいがどちらもある。
疾患の種類、年齢は問わない　【発　足】　平成9年4月
【内　容】　定例会　総会、音楽療法、講演会、見学会など
年に3回会報発行、静的弛緩誘導法を取り入れたからだの学習会「ふあふあ」
※現在コロナ禍により活動を休止したり、オンラインで実施しているものもあります。
【地　域】　主に岩手県県南地域で活動、賛助会員・会報購読会員は、地域を問わない
【定 例 会】　月1回、コロナ禍はzoomで開催
【会 員 数】　本会員8名　賛助会員・会費購読会員253名
【会　費】　本会員　年会費3,000円　賛助会員・会費購読会員　1口1,000円より

重い障がいがあっても地域の中で、みんなと学校に行き、働く場も見つけ、豊かに暮らすことを目標に活動します。親子が日頃の悩みやこれからの願いを話し合える場、情報交換の場にしていきたいです。

css family～コフィンシリス症候群とともに～　　代表：林 茜

【連 絡 先】　アメーバブログ、Twitter、Instagram　【発　足】　令和2年10月12日
【対　象】　コフィンシリス症候群と診断されたお子さんがいるご家族、
コフィンシリス症候群疑いと診断されたお子さんがいるご家族
【内　容】　LINEでの相談や交流、情報交換（随時）、zoom会（定例会を2～3ヵ月に一回）、
支部会（居住地の近い方同士の交流としてzoom会や交流会を適宜開催）、
全体交流会（年に一回、コロナ禍のため未実施）
【地　域】　全国　【会 員 数】　25名　【会　費】　なし

コフィンシリス（コフィンサイリス）症候群の家族会です(*^^*) コフィンシリスと診断されたお子さんや、疑いのあるお子さんがいるご家族が参加しています。疾患のこと、日々の成長や悩みなどを話し合ったり、定期的に集まる等、ゆるく活動しています☆

団体のホームページから抜粋
https://www.ped.med.tohoku.ac.jp/syousapo/

宮城県・仙台市委託事業

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小慢さぽーとせんたー

相談窓口
☎022-273-6008
10:00～16:00（12:00～13:00除く）
月～金曜（祝日年末年始除く）

仙台市青葉区星陵町1-1
（東北大学病院内）

慢性疾患をお持ちの お子様やご家族のために

小慢さぽーとせんたーは宮城県・仙台市から委託を受け、小児慢性特定疾病をお持ちの方やそのご家族等からの療養上、日常生活上での悩みや不安が軽減されるよう、相談・支援を行う拠点として活動しております。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。

- トップページ
- 患者会・家族会について
- お友達をお探しの方へ
- 対象疾病
- 各種相談窓口
- 講演会のお知らせ
- 家族会等講演会支援
- その他講演会情報

対象疾病	1 悪性新生物	2 慢性腎疾患	3 慢性呼吸器疾患
4 慢性心疾患	5 内分泌疾患	6 膠原病	7 糖尿病
8 先天性代謝異常	9 血液疾患	10 免疫疾患	11 神経・筋疾患
12 慢性消化器疾患	13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	14 皮膚疾患群	15 骨系統疾患
16 脈管系疾患	詳細		

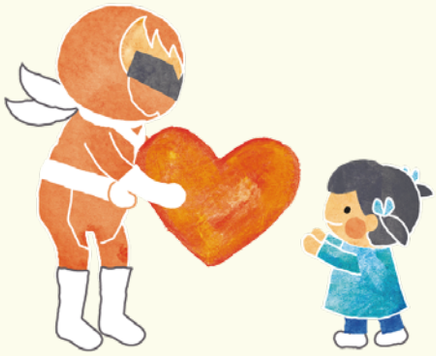
＜ 相談支援 ＞
電話・面接等により、療養上や日常生活上での悩みや不安への相談・支援、また患者会に関する情報提供等を行います。

電話相談：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
受付時間　午前10時00分から午後4時00分まで （正午から午後1時00分を除く）

＜ 医療講演会のご案内 ＞
各分野の先生方をお招きし年4回、医療講演会を開催しております。
詳しくは小慢さぽーとせんたーのHPをご覧ください。ご参加お待ちしております。

「しぶたね」は、病気の子どもの「きょうだい」のためのNPO法人です。

https://sibtane.com/



しぶたねの「しぶ」は「シブリング（sibling：きょうだい）」の「しぶ」です。
きょうだいたちが安心していられる場所や、安心して話ができる人（悲しいことも、うれしいことも、どっちでもないことも）が、どんどん増えるように、その「たね」を蒔いていこう！と、2003年に生まれました。
小さな身体でがんばっているきょうだいたちが、子ども時代を安心の中で過ごせるように…たくさんのひとのあたたかな気持ちをきょうだいたちに渡したいと願って活動しています。

こんなことしています。

①きょうだいのためのワークショップの開催
②病院できょうだいの居場所作り
③小冊子「きょうだいさんのための本」等の配布
④たねまき活動：講演・寄稿・シブリングデーの啓発活動など
⑤支援者向けシブリングサポーター研修ワークショップの開催

http://sibtane.com
facebook.com/sibtane
@sibtane
sibtane

小冊子等、いろいろつくって配っています

・きょうだいさんのための本①
「たいせつなあなたへ」

・きょうだいさんのための本②
「おにいちゃん、おねえちゃん、おとうと、いもうとをなくしたあなたへ」

・学校の先生にきょうだいさんの見守ってほしいところを伝えるシート

・病院内、きょうだいさん活動のための安心マニュアル

← などなどホームページで公開しています

ホームページから抜粋：https://mpcmiyagi.org/

宮城県患者・家族団体連絡協議会（MCP）

仙台市青葉区木町通1丁目4番15号　仙台市交通局本局庁舎７階
TEL：022-796-9130／FAX：022-211-1781

宮城県患者家族団体連絡協議会（MPC：Miyagi Patient Council）は、1988年に宮城県難病団体連絡協議会という形でスタートしました。その後、2005年にNPO法人化し、難病の患者に限らずご家族も参加して頂くことを目的に、名称をNPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会として新たにスタートし、現在に至っております。2015年には10周年事業を行いました。現在、20ほどの患者団体が加盟しており会員数は約3,000名となっております。

（2021．8月時点。HPから）

難病患者の相談に応え支援するセンターを運営し、専門の難病相談支援員が常駐しています。

- 宮城県難病相談支援センター（宮城県からの委託事業）
- 仙台市難病サポートセンター（仙台市からの委託事業）

上記の事業と共に他団体と連携した活動もしています。

MPC加盟団体

一般財団法人　日本筋ジストロフィ協会　宮城県支部
ベーチェット病友の会　宮城県支部
全国膠原病友の会　宮城県支部
全国パーキンソン病友の会　宮城県支部
宮城県腎臓病患者連絡協議会
難病ホスピスの会
宮城県ゆずり葉の会（遷延性意識障害）
胆道閉鎖症の子供を守る会　宮城支部
後縦靭帯骨化症友の会
ＪＲＰＳ宮城県網膜色素変性症協会
ＮＰＯ法人線維筋痛症友の会　東北支部
宮城県サルコイドーシス友の会
日本ダウン症協会宮城仙台支部どんぐりの会
日本てんかん協会（公社）宮城県支部
仙台ポリオの会
全国ファブリー病患者と家族の会（ふくろう会）
みやぎ化学物質過敏症の会～ぴゅあい～

その他の団体

財団法人　星稜心臓友の会
東北モフィリア友の会
全国筋無力症友の会　宮城県支部
全国低肺機能者グループ東北白鳥会宮城県支部
川崎病の子供を持つ親の会　宮城県連絡会
日本ＡＬＳ協会宮城支部
宮城県心臓病の子どもを守る会
炎症性腸疾患友の会（ＩＢＤ宮城）
もやの会　東北ブロック
東北脳脊髄液減少症患者の会
アンジェルマン家族会
宮城県喉頭摘出者福祉協会立声会
あおば会（糖尿病）、登米糖の会（糖尿病）
若葉会（小児糖尿病）、糖尿病友の会まつしま会
みやぎがん患者・家族会「はなももの会」
青葉の会（ターナー症候群）
宮城かんせんの会
宮城県脊髄損傷者協会
結いの会

表紙絵　：　大内 佑太さん（松島中学校　３年）
　　中野 朋哉さん（利府支援学校　高等部１年）
イラスト：　岩崎 利次さん

「障がいのある子どもの親の会　ご紹介」（冊子）の印刷は初版のみです。今後は宮城県障がい者福祉協会　肢体不自由児協会事業のホームページへ掲載（PDFダウンロード版）し、年1回の更新を予定しています。
　新たに掲載を希望される団体は、問い合せ先にご連絡ください。

令和3年10月1日発行

発行・問い合わせ先
社会福祉法人　宮城県障がい者福祉協会　肢体不自由児協会事業（担当 末田耕司）
TEL（022）293-2902　FAX（022）291-1588
E-mail：kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp
HP：http://kibounoko-miyagi.com/